

中国でのミドルウェア事業強化に向けて 北京中関村に「日立ソフトウェアテクノロジーセンター」を開設

株式会社日立製作所 情報・通信グループ(グループ長&CEO:古川 一夫)は、急速に市場が拡大している中国でのミドルウェア事業強化に向け、北京の中関村(*1)ソフトウェアパーク内に、日本企業としては初めてのソフトウェア拠点となる「日立ソフトウェアテクノロジーセンター(中国名:日立高科技開放実験室)」を本日開設しました。今回の「日立ソフトウェアテクノロジーセンター」の開設は、ミドルウェアを中核とした中国向けのシステム開発や、中国のソフトウェア技術者育成支援などの拠点とするためのもので、日立情報システム(上海)有限公司(総経理:岸井 禧幸、英文名:Hitachi Information Systems(Shanghai) Co.,Ltd.、以下 HISS)が本センターの運用を行います。

*1: 中関村は北京市海淀区に位置し「中国のシリコンバレー」と呼ばれる。本パークは中国国内最大級のソフトウェアパークで、北京市の外郭団体が運営し、国家発展改革委員会と情報産業部から「国家ソフトウェア基地」として認定されている。

高い経済成長に支えられ、北京五輪に向けて急速に社会基盤の整備が進む中国では、今後の情報システム市場の更なる拡大が見込まれます。これに伴うシステムの高度化・複雑化が進み、中国国内の実績あるソフトウェアパッケージを適用し、現地のニーズに即したシステムを開発していくことなどが重要なポイントとなっています。日立は、中国をミドルウェア事業グローバル化の重要拠点と位置づけ、2003年7月から HISS を拠点とした中国でのミドルウェア事業を開始し、日本国内で実績のある統合システム運用管理ミドルウェア「JP1」の販売などを行っていますが、今後の中国 IT 市場の更なる発展に寄与することを目的に、現地におけるミドルウェア事業の強化施策として本センターを開設するものです。

「日立ソフトウェアテクノロジーセンター」の活動内容は以下の通りです。

(1) 各種ソフトウェアの検証と、中国のニーズに即したシステム開発を支援

- ・中国国内ベンダーが提供する ERP パッケージなどのソフトウェアと、日立の高信頼なミドルウェアとを組み合わせるシステム開発を行う際の、機能・性能などの事前検証や評価を行います。
- ・現地 IT ベンダーのほか、中国に進出する日本企業及び、日本に進出する中国企業のシステム開発に対し、本センターを拠点とした支援を行います。これにより、中国で実績のあるソフトウェアを適用し、現地のニーズに即した高信頼なシステムの開発を支援できます。

(2) ソフトウェア技術者、システム管理者の育成支援

現地パートナー企業、ユーザ企業のソフトウェア技術者、システム管理者を対象に、日立の各種ミドルウェア製品の技術トレーニングを実施します。これによりシステムの安定稼働のための高信頼技術の浸透などを図り、現地技術者の育成を支援します。

(3) 新規事業の創出拠点として運用

本センターを拠点とし、パートナー企業や大学などとの連携で、中国国内向けの新規ミドルウェア販売や新規ソリューション開発などを行い、今後2年間で10件のパートナーとの協業締結を目指します。

なお、今後日立と HISS は、ミドルウェア分野における中国国内のマーケティング、開発、サポート体制を拡充し、JP1 他製品の販売推進により、5 年後の 2009 年に中国国内でのミドルウェア事業の売上げを年間 5 億円とする計画です。

日立情報系統(上海)有限公司 Hitachi Information Systems(Shanghai) Co., Ltd 概要

- ・事業拠点 : 上海本社(北京分公司,広州分公司,上海浦西事務所,蘇州事務所)
- ・事業内容 : 製造業向け及び金融業向けソリューション事業、ミドルウェア事業
- ・ホームページ : <http://www.hiss.cn/>

取扱事業部・照会先

株式会社 日立製作所 情報・通信グループ ソフトウェア事業部 企画本部 計画部 【担当:久芳】

〒244 - 8555 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町5030番地

電話:045 862 8996(ダイヤルイン)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
